

経営協議会議事録
(令和4年度第4回)

令和4年11月28日(月)
13時00分から14時30分まで
法人本部3階 第一会議室

出席者

議長 玉手英利
委員 相澤益男 伊藤真知子 小林裕明 鈴木道子 里村正治 西海和久
萩原なつ子 長谷川真理子
飯塚博 出口毅 矢作清 根本建二 花輪公雄 瀧瀬晃 佐藤慎哉

列席者

副学長 林田光祐 大森桂 羽鳥政男
監事 渡辺均

欠席者

委員 吉村美栄子

- 1 経営協議会議事録(9月21日開催)の確認
玉手学長から、本会議事録(9月21日開催)について確認があり、議事録が了承された。
- 2 【協議】令和5年度国立大学法人山形大学予算編成方針(案)について
根本理事から、令和5年度の学内予算を編成するにあたり、その考え方や方向性を定めた「国立大学法人山形大学予算編成方針」について審議願うものである旨説明があった。
次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に関して、主な意見は次のとおり。

- ・運営費交付金が一定比率で減っていくという情報のみを示されても、教職員はどうしたらいいかわからない。教育研究の質を上げる努力をすることでどうカバーされ、どのようなメリットがあるかを示してほしい。
- ・DX推進について、大学生・受験生・卒業生などそれぞれの属性に合うコンテンツを用意し、簡単にアプローチできるようになると良い。
- ・運営費交付金が減少することについて、10あったものが8に減るという状況で、あえて-3削って、+1の自由度を確保するというやり方がある。経営の自由度を確保のためにそのような予算編成を検討してはどうか。
- ・Accountabilityを「説明責任」と訳して広く使われているが、元来「結果責任」と「説明責任」の異なる意味があり、前者を重視するべしとの意見は大学経営にも当てはまる場合もある。予算編成の「結果責任」を明確にするためにも、キャンパス長と機構長の管掌範囲におけるグレーゾーンは無くすべきである。

- 3 【協議】山形大学研究戦略2030(YU Research2030)について
飯塚理事から、第4期中期目標期間における本学の研究に関する戦略及び実施計画をとりまとめた山形大学研究戦略2030(YU Research2030)の内容について審議願うものである旨説明があった。
次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に関して、主な意見は次のとおり。

- ・研究の質改革において、問題点及びそれをどうやって克服していくのかという強いメッセージが無いので、明確にして欲しい。
- ・学術研究の方針に「卓越性と多様性を維持・強化」とあるが前後が逆ではないか。多様性を強化するために研究するのではなく、挑戦性や独創性のある研究に挑戦するというメッセージがあっ

て、そのために多様性が重要なのではないか。

- ・グローバルな競争環境の中で結果を出すことが大切で、それが次の成果や人材育成につながる。資料に書かれていることすべてを実行するのは大変なので、結果に結びつくことを重点的にやって欲しい。
- ・研究成果事業は研究者ではなかなか難しいところなので、専門家を入れながら推進してほしい。予算が減らされていくなかで、着実に稼いでいく部分が今後必要になる。
- ・戦略として、今大きく注目されているジェンダーダイノベーションの視点を取り入れではどうか。
- ・2030年までのプランだが、戦略的重点領域は2030年まで固定なのか、一定の段階に達したら卒業して新しい重点領域を選ぶのかを検討すべき。新しいものを取り入れる仕組みがあると、研究者の励みになる。
- ・学術研究も民間企業と同じで成果の出ないままでは競争相手に負けてしまうという厳しい環境下にある。危機感を持って1人1人の研究者が立ち向かっていく意識をどう醸成するかがポイントである。

- 4 【報告】キャンパス経営力評価（チャレンジ評価）の2年目終了時審査について
玉手学長から、議題に関して、報告があった。
- 5 【報告】令和4年度資金運用状況（上半期）について
根本理事から、議題に関して、報告があった。
- 6 【報告】令和4年度収支状況（上半期）について
根本理事から、議題に関して、報告があった。
- 7 【報告】国立大学法人山形大学研究専任特別年俸制適用職員給与規程の制定等について
玉手学長から、議題について、資料の閲覧による報告とする旨説明があった。
- 8 【報告】国立大学法人山形大学役員給与規程等の一部改正について
玉手学長から、議題について、資料の閲覧による報告とする旨説明があった。
- 9 【報告】令和5年度山形大学学校推薦型選抜・総合型選抜等の志願状況について
玉手学長から、議題について、資料の閲覧による報告とする旨説明があった。
- 10 【報告】令和4年度大学院入試について
玉手学長から、議題について、資料の閲覧による報告とする旨説明があった。

次回は、令和5年1月23日（月）に開催することとなった。